

那覇市 CKD(慢性腎臓病)対策推進 NEWSレター **Vol. 4**

シケデーフォーティエイト
CKD 病診連携 (なはCKD 4 8) が 2016 年 4 月スタートしました!

CKD登録医 54人、腎臓診療医 27人(9月現在)にご協力いただいています

平成 28 年 8 月 18 日(木)、今年度第 1 回の CKD 病診連携推進会議を開催しました。委員として、田名毅(首里城下町クリニック第一)、比嘉啓(首里城下町クリニック第二)、宮良忠・糸数昌悦(那覇市立病院)、真栄城修二(まつお TC クリニック)、屋宜宣治(屋宜内科)、新城真紀(全国健康保険協会沖縄支部保健師)、宮城輝(沖縄県腎臓病協会副会長)、仲宗根正(那覇市保健所参事)の 9 名にご出席いただきました。(敬称略) ※友利博朗(八重洲クリニック)は所用のため欠席。



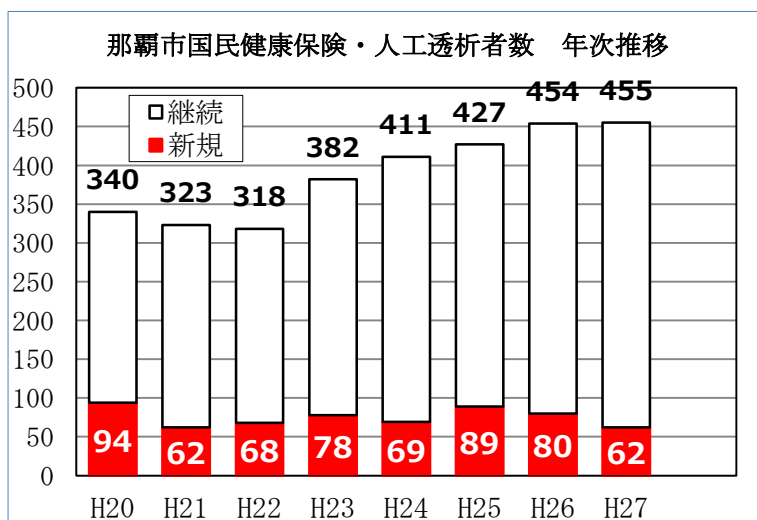
<報告 1> ①那覇市国保特定健診における慢性腎臓病 (CKD) 該当者数

| 尿・血液検査とも実施 18,935 人中 | 該当数 |
|--------------------------|-------------|
| 尿蛋白 2+以上 | 328 人(1.7%) |
| 尿蛋白・尿潜血ともに陽性 | 243 人(1.3%) |
| eGFR50 未満(70 歳以上は 40 未満) | 468 人(2.5%) |

左表は、平成 26 年度特定健診の結果より、腎臓診療医への紹介基準に該当する人数を示しています。紹介基準に該当する人は、約 1,000 人います。

該当者すべてが腎臓療医を受診するのは現実的ではなく、一度、CKD登録医・かかりつけ医にて再検査いただき、腎臓診療医への紹介が必要か判断していただく必要があります。

②那覇市国保における人工透析患者の推移

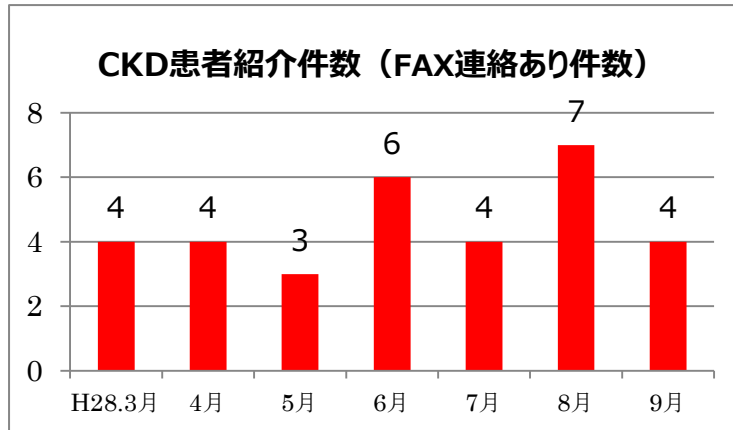


これまで、国保の人工透析の患者数は増加し続けてきましたが、H27 年は伸びが頭打ちになった印象を受けます。単年度での評価はできませんが、診療にあたられている先生方のご尽力の結果であると考えております。今後とも患者数の推移を注視する必要があります。

さらに CKD 対策に力を入れ、末期腎不全の予防および人工透

析の新規導入を減らすこと、あわせて心血管疾患の発症を減らしていくことが、市民の健康と生活の質 (QOL) の維持、最終的には医療費の適正化につながると考えております。

＜報告2＞ CKD登録医から腎臓診療医への紹介件数（※FAX連絡を受けた件数）



CKD患者の紹介数は、月に3～4件、多いときで6～7件と予想より少ない状況です。今後の取組として、1つめに、CKD登録医（かかりつけ医）の皆様とCKD病診連携の状況を確認させていただくこと、2つめに市民の理解が得られるよう、知識の普及・意識啓発のため広報に力を入れてます。

10月発行の「国保健診だより」にはCKD病診連携を特集します。

＜報告3＞ CKD病診連携スタート後の市民からの問い合わせ、反響について

事例1：毎年、尿たんぱく陽性なので心配。

80代男性よりお電話あり。毎年、健診にて尿蛋白の再検査となる。近医で再検査して問題ないと言われたので、特に通院はしていない。腎臓の専門医にかかったほうがよいのか？

（対応）CKD登録医またはかかりつけ医からの紹介となるので、一度ご相談くださいと伝えお住まいの地域のCKD登録医をご紹介します。

事例2：通院中の方は、専門医の意見も聞きたいが先生に遠慮して言い出せない・・・

70代男性。長年、糖尿病の治療をしている。腎機能が低下したのを機に透析のできる医療機関に転院した。クレアチニンが上昇し、透析間近なのでシャントを造っておこうと勧められたが、本当に必要な状態なのか腎臓の専門医の意見も聞きたい。しかし、主治医には言い出しにくいので、どうしたらいいかと相談したい。

（対応）腎臓専門医でも問診や検査を始めから行わないと診断できない。時間も労力もかかり身体への負担もある。「シャントが必要な状態か、他の先生の意見も聞きたいので紹介して欲しい」と主治医に依頼してはどうかと勧めました。相談者の反応は、「お世話になっている先生にそんなこと言えない。気を悪くしたら気まずくなって困る」というものでした。

重要【協議事項】CKD病診連携を進め、紹介件数を増やしていくには？

前述のとおり、那覇市に連絡いただいている紹介件数は予想より少ない状況ですが、腎臓診療医からは「CKD患者の紹介数は確実に増えている」「CKD登録医以外からの紹介も増えている」との報告があり、CKD患者さんの紹介は確実に増えているようです。

委員からは、CKD登録医（かかりつけ医）からの紹介を増やす工夫として、①ニュースレターを定期的に発行し、病診連携を時々思い出していただく（リマインド）機会を増やす、②医療機関へ病診連携に関するポスターを掲示し、患者さん自身に気づいてもらう、などの案をいただきました。

お願い：アンケートへのご協力依頼

CKD病診連携が開始されてからの課題・ご意見を把握するため、CKD登録医・腎臓診療医の皆様と同封のアンケートをお願いします。お忙しいところ恐縮ですが、**那覇市CKD病診連携をより良いものとするため**、ご協力をお願いします。結果については、ニュースレター一等で報告いたします。